

令和5年度成人歯科保健活動の課題と取組

1. 課題

- ①成人歯科健康診査の受診率が低率で推移 (H30年度: 5.6% ⇒ R4年度: 3.6%)
- ②進行した歯周炎を有する者の割合の増加 (H30年度: 49.1% ⇒ R4年度: 54.1%)
- ③青年期・壮年期への効果的な歯科保健活動の周知啓発

2. 取組

(1) 健康教室などでの周知・啓発活動

- ・いきいき健康教室 (出張出前講座)

講話に加えて、今年度からテーマに顔・お口の体操等、体験型の教室を追加した。

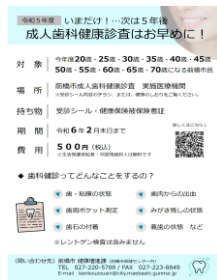
【実施件数】23件(656名)、R4の12件(266名)から依頼件数が2倍増。

【会場】学校・企業・サロン・公民館等

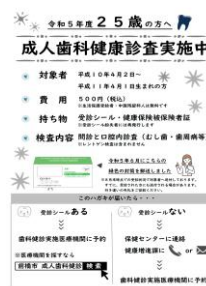
- ・盲学校、聾学校、しろがね特別支援学校へ歯科保健指導を実施
- ・市民健康講座・・・【演題】マスク自由化～外す勇気・第一歩～【受講者】50人
【講師】リーフ歯科クリニック 院長 豊田 庸光 先生

(2) 若い世代への周知活動

- ・スマイル健診(18歳～39歳の方を対象に行う健診)の会場内で、歯科ポスターの掲示、受診者(838名)へチラシを配付。
- ・市内大学・専門学校(31校)へポスター掲示やSNS等で歯科の情報配信を実施。
- ・おもてなし学校外国人学生(約100名)へ成人歯科健康診査の受診勧奨を行った。



成人歯科健康診査受診勧奨チラシ



25歳への再受診勧奨ハガキ



学生向け受診勧奨ポスター

(3) 成人歯科健診再受診勧奨ハガキの送付

要精検者の低年齢化がみられるため、令和4年・5年、対象者を25歳とした。

9月に成人歯科健康診査未受診者へハガキを送付し、早期受診を促した。

3. 今後の取組

- ・成人歯科健康診査の受診率の高い同規模自治体に周知・啓発、取組等について調査
- ・成人歯科健康診査再受診勧奨ハガキの送付対象年齢を2つの年齢層に拡大
- ・成人歯科健康診査の受診方法から、流れまでの動画を撮影しYouTubeや教室で活用
- ・イベント、学生の文化祭等でRDテスト(むし菌菌数の検査)を活用し啓発